

🎀 第49回 はたちを祝う会 🎀

令和6年11月16日（土）盛岡市手をつなぐ育成会設立70周年記念式典と併せて第49回 はたちを祝う会が開催されました。

今年度は、田村太一さん、高嶋哲也さんが二十歳を迎えられました。当日はお天気に恵まれ、気持ちも晴れやかに式典が進んでいきました。

スーツを着たお二人をお祝いしようと集まってくださった来賓の方々、通っている事業所の方々、先輩方に見守られ、会場は華やかな雰囲気になりました。

設立70周年記念式典では、盛岡市長 内館茂様、盛岡市教育委員会教育長 多田英史様、盛岡市社会福祉協議会会長 谷藤裕明様よりお祝いの言葉をいただいたのに続き、スペシャルゲストのアルパ奏者の絵美夏さん、ギター演奏の北田きたろうさんによる、コンドルは飛んで行く、サンタルチア、星巡りの歌などを演奏していただきました。

終わりに、岩泉睦夫副会長より二十歳の二人に力強いエールが送られ会場は大いに盛り上がりました。

閉会後も、親子で写真を撮ったり、駆けつけてくれた仲間と語り合ったりと、祝う会の余韻にひたりながら会場を後にしていました。思い出に残る会になったことと思います。

皆さまのご協力に感謝致します。ありがとうございました。



司会 小笠原真理子さん



地域生活支援センター歩夢
所長 青木智恵子様



ファーム仁王
所長 利府みちる様





❖ご本人、ご家族からはたちになった感想やこれからの抱負を寄せていただきましたのでご紹介いたします❖

はたちを祝う会を開いていただきありがとうございます。

皆さんのたくさんの「おめでとう」の言葉やエールがうれしかったです。友達からお祝いの花束をもらってうれしかったです。これからもいっしょけんめいがんばっていきます。ありがとうございました。

田村太一

本日、はたちを祝う会にお招きいただき誠にありがとうございます。障害を持つものの親として、若者たちの成人のお祝いをこのように盛大に祝っていただいたこと感謝申し上げます。

今日の私たちの生活が先輩方の築いて下さった伝統の上に成り立っていることをかみしめ、また私たちも微力ながらもこれから後に続くであろう方々の支えになればと思いを新たにしました。

考えてみれば、私たちの生活は不安なことだらけです。私たちがひよんなことで動けなくなったら息子はどうになってしまうのだろう。まずそのことが念頭を離れません。このような心配はお互い様なのかもしれません。誰もが不安を抱えながらも今日を乗り切っていかなるを得ないでしょう。そんな時でも、今日笑って生活できることに感謝し、明日に多少の希望を持って眠れることを感謝したいのです。私たちの家族の生活が不安の歴史なのだとし、また多くのご家族もやはりそうなのだとし、人の善意というものは、永久に不変であることのように思います。

作業所の方々、NPOの方々、お世話になった先生方、支援団体の皆さま、行政、すべての方々の善意が、これからも、親たち、障がい者本人、関わり合いのある方々、すべての善意を照らして欲しい。またそればかりでなく、我が息子が、ささやかでも誰かの支えになって欲しいと切に思います。

本日はありがとうございました。

高嶋哲也 父 裕一

🌸 保護者お礼の言葉 🌸

本日は、このような温かいお祝い会を開いていただき、ありがとうございます。また、はたちを迎える今日まで、子供たちもふまえ、我われ家族を支えてくださった育成会の皆さまには、心から感謝を申し上げます。

自分の息子の話になってしまいますが、20年前に生まれたときは、心臓に多くの疾患があり、幾度の手術や敗血症など、正直、覚悟を決めたこともありました。その息子が、はたちを迎えることができたことは、いろんな方々の支援はもちろんですが、本人の生きる力の強さ、たくましさだと感じさせられました。今は、ファーム仁王に通い、仕事を楽しくしています。

これからも、ここで、はたちを迎えた子供たちの人生が楽しく歩いていけるよう、育成会の皆さまをはじめ、多くの方々にご支援をいただきながら、豊かに笑顔に歩いていけたらと思います。

本日は、ありがとうございました。



田村克彦



11月18日岩手日報掲載



高嶋哲也さん



田村太一さん